

平成24年度 達成度報告書

山形県県土整備部道路課

平成25年11月22日

1 山形県道路中期計画について

2 10のみちづくり施策の達成状況

最 優 先)	1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手	2
最 優 先)	2. 高速道路ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	3
選択と集中)	3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進	7
選択と集中)	4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進	9
選択と集中)	5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	10
選択と集中)	6. 人に優しい道路空間の整備推進	12
最 優 先)	7. 緊急輸送道路の強化の推進	13
選択と集中)	8. 災害と雪に強い道路の対策推進	14
最 優 先)	9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化	15
最 優 先)	10. 県民協働と効率的な道路維持管理の推進	16

3 総括

1 山形県道路中期計画について

山形県中期計画 山形のみちしるべ 2018

平成 22 年3月策定

■ 「5つのみちづくり方針」とそれを具体化する「10のみちづくり施策」

5つのみちづくり方針

(活力・交流)

1. 活力と交流を生み出す
みちづくり

(暮らし・地域)

2. 暮らしと地域を支える
みちづくり

(人・環境)

3. 人と環境を大切にする
みちづくり

(安全・安心)

4. 安全と安心を確保する
みちづくり

(保全・協働)

5. 次の世代に継承できる
みちづくり

10のみちづくり施策

最優先の施策

選択と集中の施策

1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手

2. 高速道路ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進

3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進

4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進

5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進

6. 人に優しい道路空間の整備推進

7. 緊急輸送道路の強化の推進

8. 災害と雪に強い道路の対策推進

9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化

10. 県民協働と効率的な道路維持管理の推進

■ みちづくりの考え方（施策の進め方）

厳しい財政状況の中で、効率的に「山形のみちの将来像」を実現し、かつ県民の皆様の豊かさに少しでも結び付けられるよう、以下に示す考え方で今後概ね10年のみちづくりを進めていきたいと考えております。

～選別の視点～

考え方1「最優先」・・・今後10年間で重点投資をしていく施策であり、優先的に必要額を確保するように取り組みます。

考え方2「選択・集中」・・・市町村や地域の意見を聴きながら、弾力的に、取り組みます。

～事業効果の検証～

PDCA サイクルの徹底と適確な中期計画の見直し

2 10のみちづくり施策の達成状況

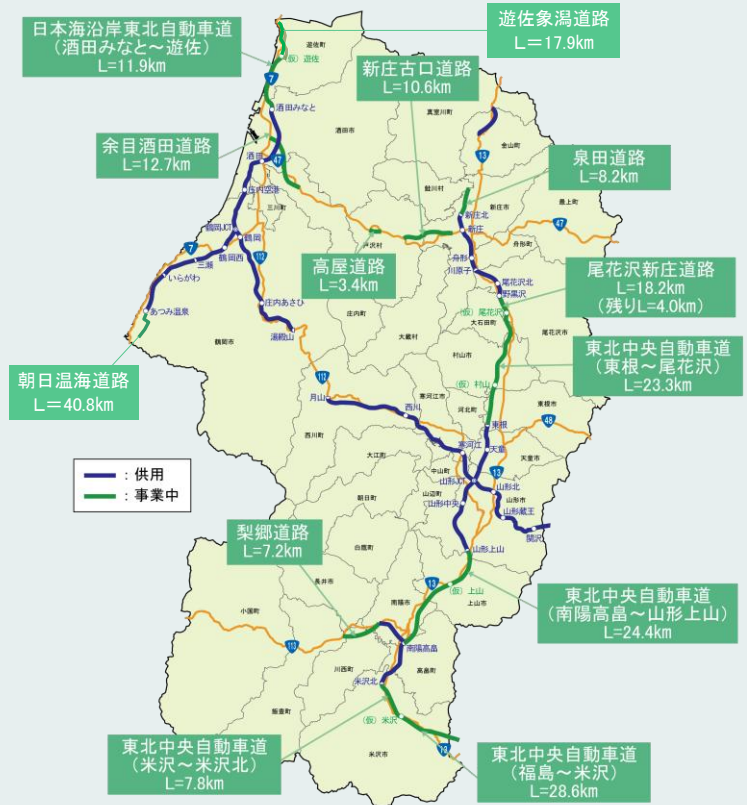
最優先) 1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手

■プロジェクトの方針

- 高速道路 : 現在事業中区間のうち、「酒田みなとIC～(仮)遊佐鳥海IC」間(H21事業着手)を除く区間の供用(供用率80%の達成)
 : 秋田・新潟県境の未着手区間の着手
 地域高規格 : 計画路線について、事業中区間を供用(供用率45%の達成)未着手区間および石巻新庄道路についての着手
 追加IC : 追加インターチェンジと高速道路の一体的整備

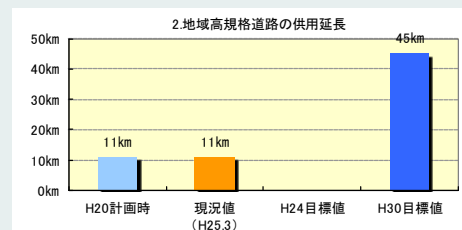
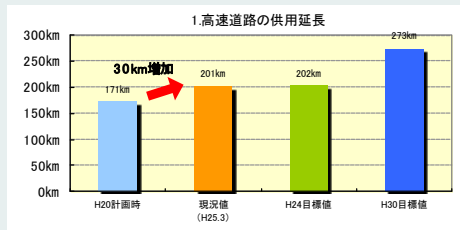
■取り組み(計画時)

	高速道路	地域高規格
供用(整備促進)を目指す	[日道] 酒田みなとIC～(仮)遊佐鳥海IC	
供用を目指す	[日道] (仮)温海IC～鶴岡JCT [東北中央道] (仮)福島JCT～(仮)米沢IC	[新庄酒田道路] 新庄古口道路、高屋道路、余目酒田道路 [新潟山形南部連絡道路] 梨郷道路
新規着手を目指す	[日道] 朝日温海道路、遊佐象潟道路 [東北中央道] (仮)泉田道路、(仮)泉田道路～主環坂道路、主環坂道路～雄勝こまち	[新庄酒田道路] 古口～草薙 ○整備区間昇格 [新庄酒田道路] 戸沢～庄内 [新潟山形南部連絡道路] (仮)小国道路 ○調査区間昇格 [新庄酒田道路] 立川～余目 [新潟山形南部連絡道路] 小国～長井 ○計画路線昇格 [石巻新庄道路]
追加IC	: 追加ICの整備を目指す [東北中央道] 米沢IC～米沢北IC、東根IC～村山IC、村山IC～尾花沢IC	



■指標

- (1) 高速道路の供用延長
- (2) 地域高規格道路の供用延長



■達成事業と今後の取り組み

【平成24年度までの取組み】

- H21.3—整備計画 梨郷道路(7.2km)
- H21.5—整備計画 日本海沿岸東北自動車道(酒田みなとIC～(仮)遊佐IC)(11.9km)
- H23.3—供用開始 新庄北道路(4.7km)
- H24.1—計画段階評価完了 日本海沿岸東北自動車道(朝日～温海(約41km)、遊佐～象潟(約17km))
- H24.3—供用開始 日本海沿岸東北自動車道(温海～鶴岡)(25.8km)
- H24.4—連結許可 (仮称)米沢中央IC、(仮称)東根北IC、(仮称)村山北IC、(仮称)村山大石田IC

【平成25年度における取組み】

- 新規事業 遊佐象潟道路(17.9km)
- 新規事業 朝日温海道路(40.8km)
- 計画段階評価を進めるための調査着手 東北中央自動車道 昭和～金山(約9km)
- 計画段階評価を進めるための調査着手 東北中央自動車道 及位～上院内(約13km)

【平成25年度目標値に対する達成状況】

指標1: 達成 指標2: 目標値なし

最優先) 2. 高速道路ネットワーク形成と連携した IC アクセス道路等の整備推進

■プロジェクトの方針

高速道路・地域高規格道路の整備とともに、高速道路等の利便性向上のためのIC、追加ICへのアクセス道路の整備を促進する。また、既存ICへのアクセス性を向上させるための道路整備も合わせて推進する。

■取り組み

- ・新設ICと市街地を連結し、高速道路の利便性を向上させるアクセス道路の整備
- ・市街地、駅、空港などと高速道路をより効率的に結び付け、観光客などの訪問者が高速道路を効果的に利用できるようにするための道路整備
- ・農・水産生鮮食品等の輸送車両を迅速に高速交通網に乗せるための道路整備

■実施事業例

事業名：(主) 山形山形寺線 穂積工区 (平成24年度供用)

○整備の経緯・目的

【背景】

本路線は観光地である山寺へのアクセス道路であるとともに、国道13号を介し東北横断自動車道酒田線山形北ICや山形流通団地に連絡する重要な道路である。本路線の沿道は人家連たん区間であるため、バイパスを整備することで現道からの交通転換を図り、沿道環境改善を図るものである。

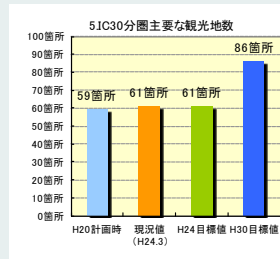
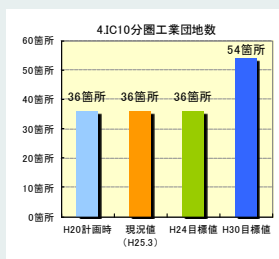
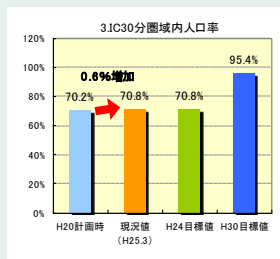


【整備内容】 バイパス整備
延長L=1.7km、幅員W=13.0m



■指標

- (3) IC30分圏域県内人口率 : 県内在住者のうちICまで30分でアクセス可能な人口の割合
 (4) IC10分圏工業団地数 : 工業団地のうちICまで10分以内でアクセス可能な団地数 (全81か所)
 (5) IC30分圏主要な観光地数 : 主要な観光地 (10万人以上) のうち30分でアクセス可能な観光地 (全92か所)



■達成状況と今後の取組み

【平成24年度までの取組み】

- (都) 山形停車場松波線 諏訪町 (村山8)
- (都) 東原村木沢線 春日町 (村山9)
- (主) 山形山形寺線 穂積 (村山10)
- (一) 下原山形停車場線 清住町 (村山12)
- (主) 新庄戸沢線 松本 (最上10)
- (一) 米沢環状線 万世 (置賜11)
- (国) 112号酒田南拡幅 (庄内10)
- (主) 余目温海線 温海 (庄内11)
- (主) 酒田松山線 飛鳥 (庄内12)
- (主) 菅野代荅沢線 五十川 (庄内14) 等が完了

【平成25年度における取組み】

- (主) 天童大江線 蔵増 (村山11)
- 国道458号 本合海BP (最上11)
- 国道287号 米沢北BP (置賜10)
- (一) 湯田川大山線 白山 (庄内13) 等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成状況】

- 指標3: 達成
- 指標4: 達成
- 指標5: 達成

■ 計画策定時からの達成度

指標 (3) IC30 分圏域県内人口率

山形県内の全人口に占める、ネットワーク化した高規格幹線道路の IC から 30 分で到達可能な圏域の内人口の割合

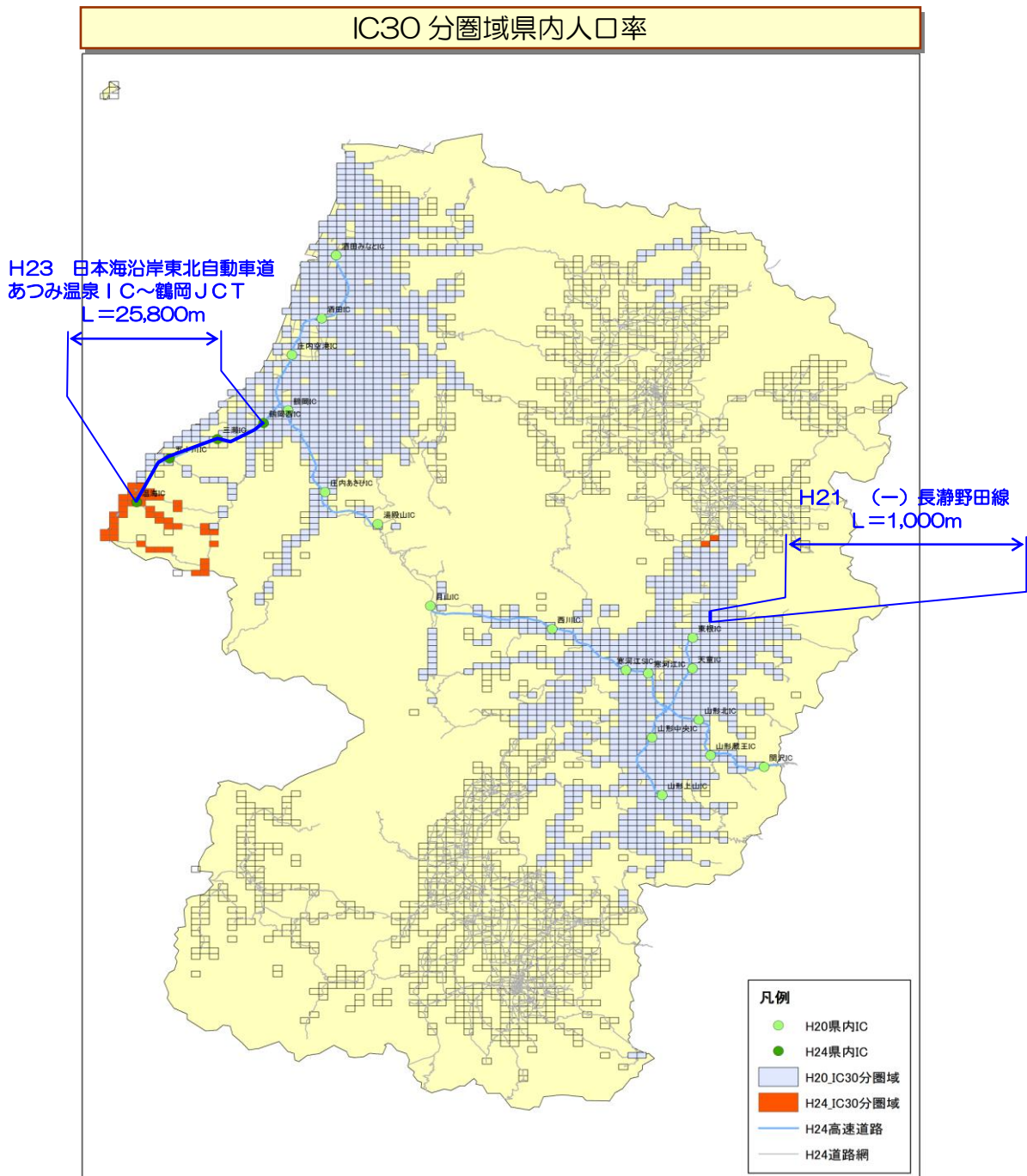
計画策定時と比べて、新潟県境付近および村山市周辺で、IC から 30 分以内に到着できる圏域が拡大し、指標は 0.6% 向上した。(山形県内の約 7,700 人が、新たに IC30 分圏域に含まれることとなった。)

■ 指標の向上に寄与したと考えられる路線

【村山】 H21 (一) 長瀬野田線 (道路改築事業、バイパス整備、L=1,000m)

【庄内】 H23 日本海沿岸東北自動車道 あつみ温泉 IC~鶴岡 JCT (直轄事業 高規格道路 L=25,800m)

指標名	H20 実績	H24 現況
IC30 分圏域県内人口率	70.2%	70.8%



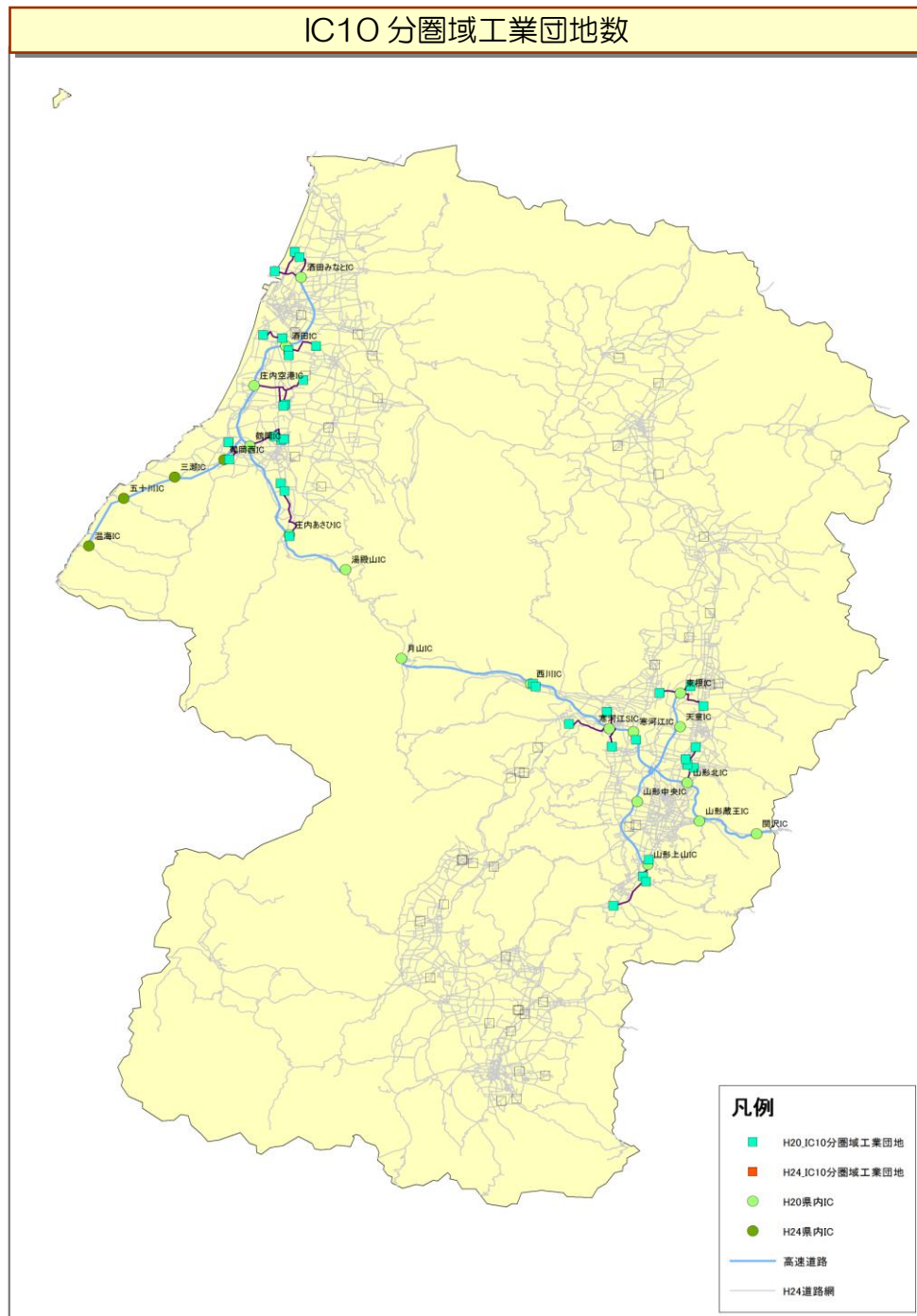
指標（４）IC10分圏域工業団地数

ネットワーク化した高規格幹線道路のICから10分で到達可能な工業団地数

計画策定時と比べて、ICから10分以内に到達できる工業団地数は変化しなかった。

■ 指標の向上に寄与したと考えられる路線
なし

指標名	H20実績	H24現況
IC10分圏域工業団地数	36箇所	36箇所



※米沢南陽道路等の単独区間のICについては含めていない。

指標 (5) IC30 分圏域主要な観光地数

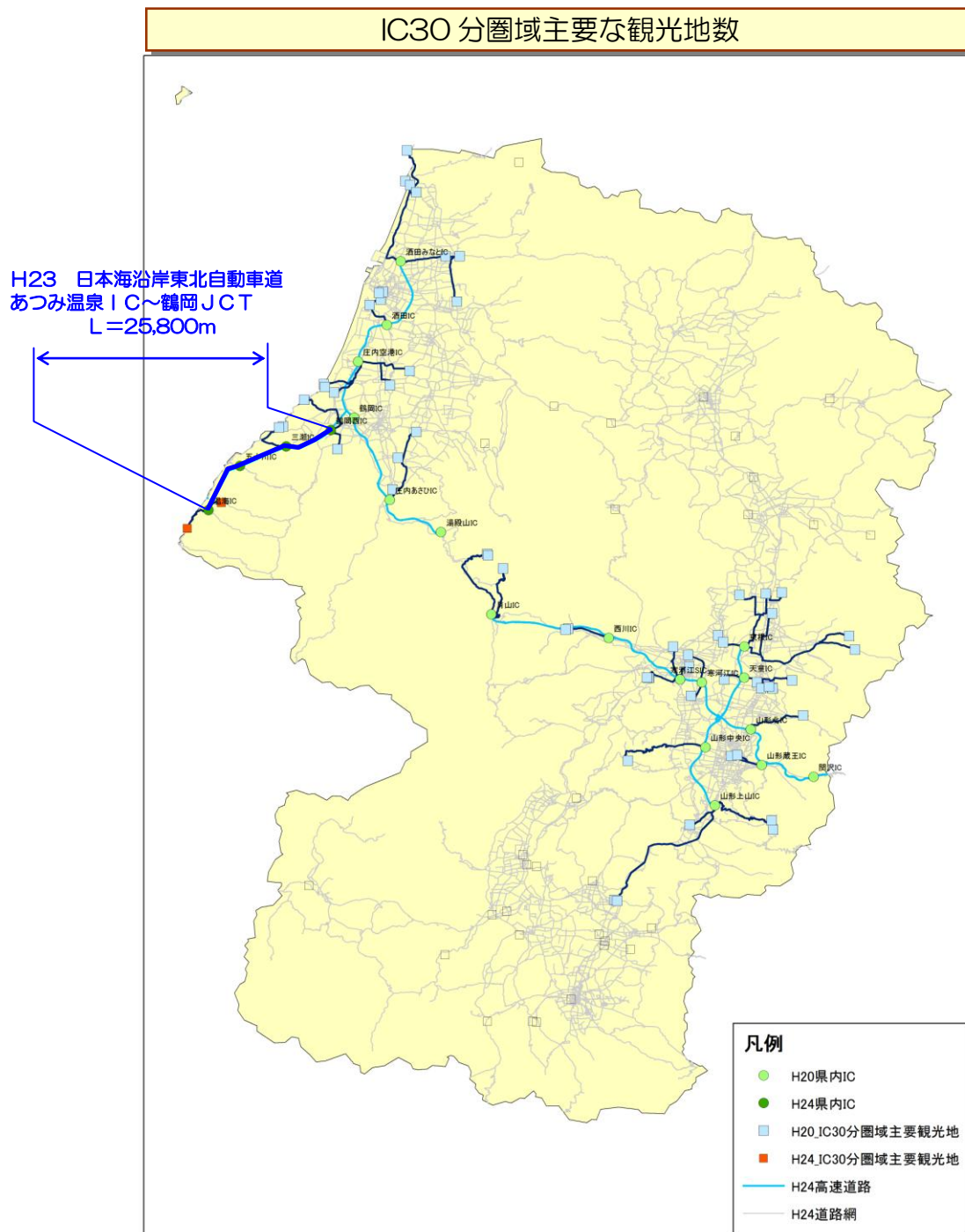
ネットワーク化した高規格幹線道路の IC から 30 分で到達可能である山形県内の主要な観光地数

計画策定時と比べて、庄内の新潟県境付近および村山市周辺で、IC から 30 分以内に到達できる山形県内の主要な観光地数は 2 箇所増加した。

■ 指標の向上に寄与したと考えられる路線

【庄内】H23 日本海沿岸東北自動車道 あつみ温泉 IC～鶴岡 JCT (直轄事業 高規格道路 L=25,800m)

指標名	H20 実績	H24 現況
IC30 分圏域主要な観光地数	59 箇所	61 箇所



※米沢南陽道路等の単独区間の IC については含めていない。

選択と集中) 3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進

■プロジェクトの方針

生活圏間の主要都市や、生活圏内の中心市街地と中小都市の交流連携を進め、生活関連サービスの確保や地域社会の維持、冬期間においても生活や福祉にできるだけ影響を与えないようにするため、一般国道や主要な県道の隘路区間やボトルネック箇所の改築・拡幅（多車線化）やバイパス整備などを、選択と重点化を図りながら計画的に推進する。

■取り組み（対象事業）

国道・県道の改築、バイパス整備、橋梁整備、渋滞対策等

- ・地域生活圏間の連結強化により、地域間の交流促進を促し活性化に資する道路の整備
- ・車両と歩行者が混在する状況により生じていた歩行者の危険性解消のための、歩道整備による歩車分離や、バイパス整備による通過交通の転換等の対策
- ・物流機能の強化等、広域的な経済活動を支援する道路の整備
- ・市街地と観光地間、観光地相互の移動を円滑・活性化する観光支援道路の整備
- ・地域生活圏の中核都市と周辺都市を結び、通勤、買い物など日常生活の利便性を向上する道路の整備
- ・冬期間における安全な交通を確保し、積雪による影響を生活や福祉に与えないための道路の整備
- ・地域の医療施設へのアクセス向上のため、隘路の解消、渋滞解消等を図る道路の整備

■実施事業例

事業名：(主) 米沢高畠線（長手工区）（平成24年度供用）

○整備の経緯・目的

【背景】

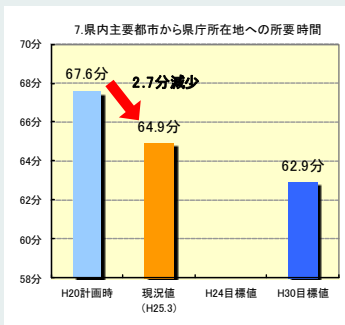
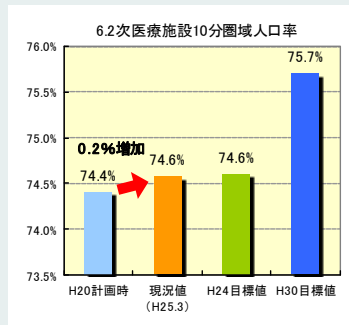
本路線は米沢市と高畠町を結ぶ重要な幹線道路である。
長手工区は線形、幅員狭小の隘路解消を図るバイパス事業である。

【整備内容】 バイパス整備
延長L=1.86km、幅員W=9.50m



■指標

- (6) 2次医療施設10分圏域人口率
：二次救急医療施設に10分以内に搬送可能な人口率
(7) 県内主要都市から県庁所在地への所要時間



■達成状況と今後の取組み

【平成24年度までの取組み】

国道458号 山辺BP (村山14)
(主) 天童寒河江線 岡 (村山17)
国道344号 秋山BP (最上12)
(一) 稲沢下野明・安沢 (最上13)
(主) 米沢高畠線 長手 (置賜14)
(主) 山形南陽線 中里 (置賜15)
(一) 五味沢小国線 舟渡 (置賜16) 等が完了

【平成25年度における取組み】

(主) 山形山辺線 吉野宿 (村山15)
(主) 長井白鷹線 荒砥橋 (置賜17)
(主) 鶴岡羽黒線 羽黒山 (庄内15) 等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成状況】

指標6: 達成
指標7: 目標値なし

■ 計画策定時からの達成度

指標 (6) 2次医療施設 10分圏域県内人口率

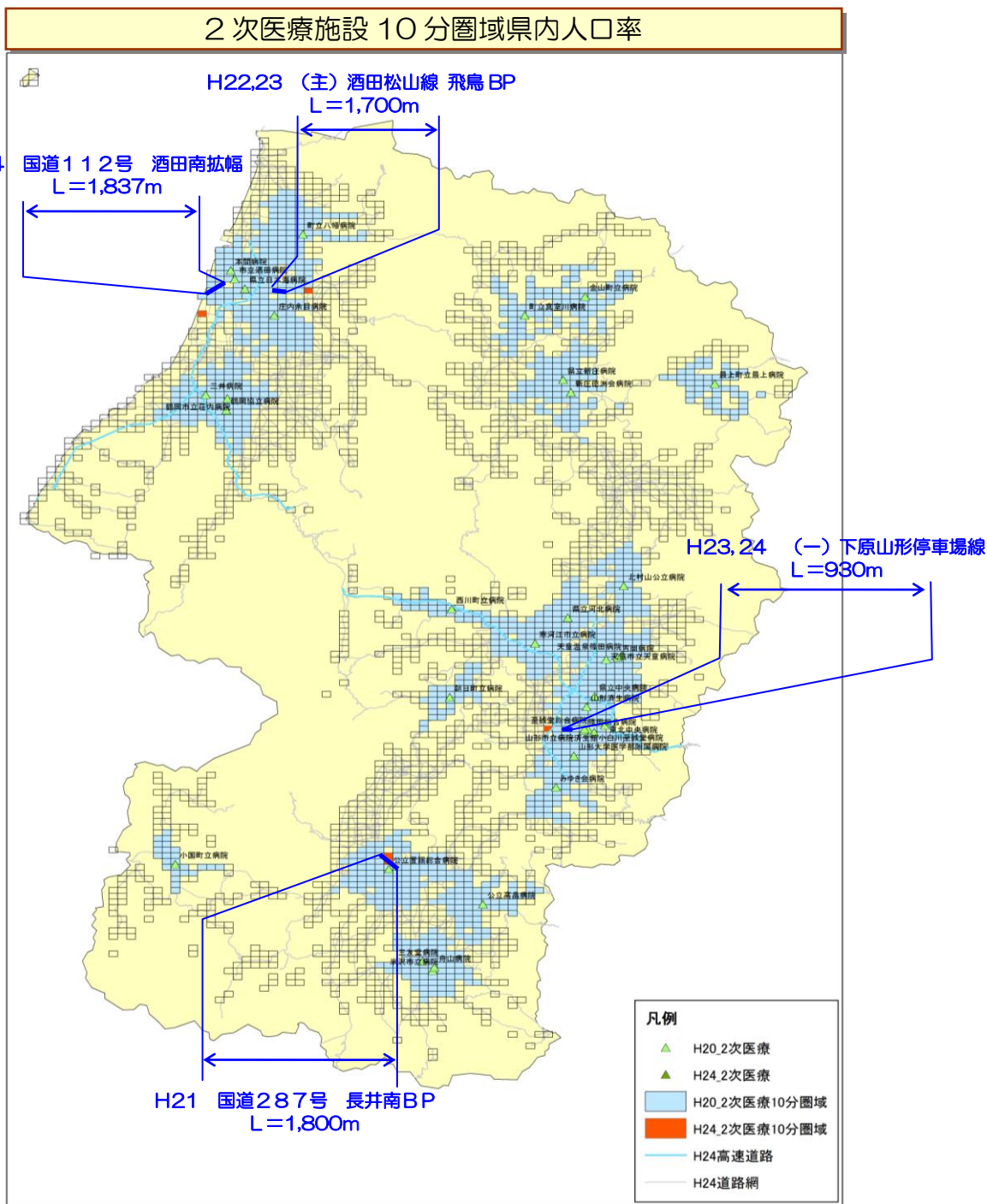
山形県内の全人口に占める、山形県内2次医療施設から10分で到達可能な圏域内人口の割合

計画策定時と比べて、山形市・酒田市および南陽市周辺で、2次医療施設から10分以内に到着できる圏域が拡大し、指標は0.2%向上した。(山形県内の約1,700人が、新たに2次医療施設10分圏域に含まれることとなった。)

■ 指標の向上に寄与したと考えられる路線

- 【村山】 H23, 24 (一) 下原山形停車場線 (道路改築事業 4車線化 L=930m)
- 【置賜】 H21 国道287号 長井南BP (交通円滑化事業 バイパス整備[暫定2車線] L=1,800m)
- 【庄内】 H24 国道112号 酒田南拡幅 (道路改築事業 4車線化 L=1,837m)
- H22, 23 (主) 酒田松山線 (道路改築事業 バイパス整備 L=1,700m)

指標名	H20実績	H24現況
2次医療施設10分圏域県内人口率	74.4%	74.6%



選択と集中) 4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進

■プロジェクトの方針

生活圏内における中心市街地と周辺地域や中山間地域とを結ぶ、地域社会に欠かせない生活に密着した道路の隘路区間やボトルネック箇所を解消するための改築事業等を、選択と重点化を図りながら計画的に推進する。

整備にあたっては、1.5車線道路整備など、地域の実情に応じた弾力的な整備方法となるよう実施していく。

■取り組み（対象事業）

小規模な道路改築（現道拡幅）、バイパス整備、待避所整備、視距改良等

- ・ 地域の利便性や福祉環境の向上のため、地域生活圏内の中心部と周辺部の連絡を強化し、日常生活に支障となる隘路を解消するための、小規模バイパスや現道拡幅
- ・ 歩道整備や小規模バイパス整備による歩行者の安全対策
- ・ 中山間部の自動車交通量の少ない、すれ違い困難な道路においての、地域の実情を考慮した待避所整備や、1.5車線道路整備
- ・ 屈曲部等の対向車の確認が困難な箇所においての、視距確保のための小規模改良
- ・ 除雪された雪による通行への影響を、できるだけ与えないようにするための道路整備

■実施事業例

事業名：(主) 大江西川線 (貫見工区) (平成23年度供用)

○整備の経緯・目的

【背景】

本路線は大江町を東西横断する幹線道路である。
バイパス整備により隘路区間を解消する。

【整備内容】

バイパス整備
延長L=1.52km、幅員W=8.50m



【整備前】



【整備前（冬期）】



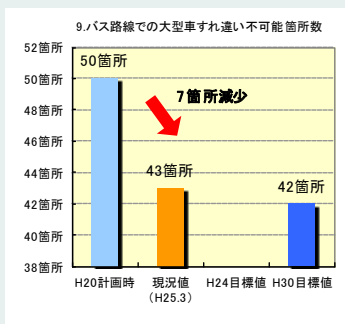
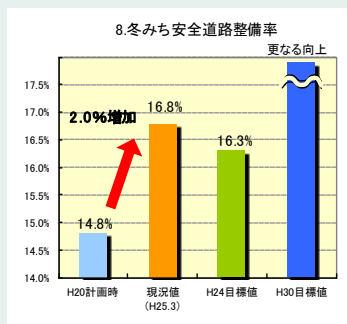
【整備後】



■指標

(8) 冬みち安全道路整備率：堆雪幅が確保された道路（車道幅員8.5m）の延長割合（直轄国道+県管理道路）

(9) バス路線での大型車すれ違い不可能箇所数：バス路線のうち未改良道路（車道幅員5.5m未満）の箇所



■達成状況と今後の取組み

【平成24年度までの取組み】

- (一) 長瀬野田線 野田 (村山 19)
- (主) 長井大江線 大谷 (村山 21)
- (主) 大江西川線 貫見 (村山 22)
- (主) 新庄舟形線 本合海 (最上 15)
- (一) 向町最上西公園線 月楯 (最上 17)
- (一) 広幡窪田線 六郷 (置賜 18)
- (一) 円能寺砂越停車場線 中野俣 (庄内 17)

【平成25年度における取組み】

- (主) 上山蔵王公園線 蔵王温泉 (村山 20)
- (一) 平岡日当線板橋 (最上 16)
- (主) 長井飯豊線 手ノ子 (置賜 19)
- (一) 鶴岡村上線 荒沢 (庄内 16) 等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成状況】

指標8: 達成
指標9: 目標値なし

選択と集中) 5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進

■プロジェクトの方針

生活圏の中心的都市内の生活関連サービスの確保や、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めるため、都市内幹線道路の隘路区間やボトルネック箇所の改築・拡幅（多車線化）、歩車道分離など必要不可欠な事業について、選択と重点化を図り計画的に推進し、中心市街地の都市基盤の整備、良好な都市空間の整備を図る。

特に、都市部における日常生活や産業活動に多大な影響を与え、環境悪化に繋がるCO₂の増大を助長する渋滞箇所の解消を同時に図っていく。

また、都市の骨格となるような道路については、街中観光、街歩きなど地域が取り組む中心市街地活性化対策などにより、街なかを活性化するよう、連携を進めていく。

■取り組み（対象事業）

- ・人口が集中する都市内における幹線的な都市計画道路や、渋滞の解消が不可欠な都市計画道路の整備
- ・新たな都市基盤整備や、土地区画整理事業などに伴う都市計画道路の整備

■実施事業例

事業名：(一) 下原山形停車場線 清住～春日町（平成24年度供用）

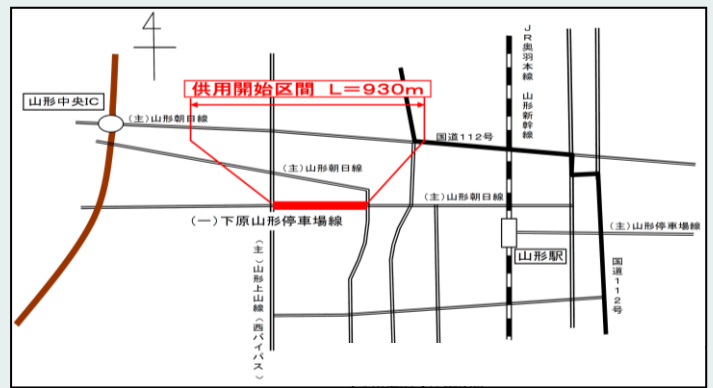
○整備の経緯・目的

【背景】

道路幅が狭く、通勤通学時には慢性的な交通渋滞が発生していた。4車線化・歩道の拡幅・無電柱化等により、円滑な通行の確保、快適な歩行空間の整備、良好な景観の形成を図る。

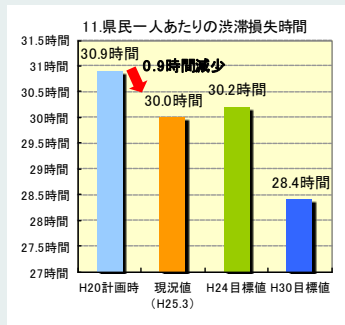
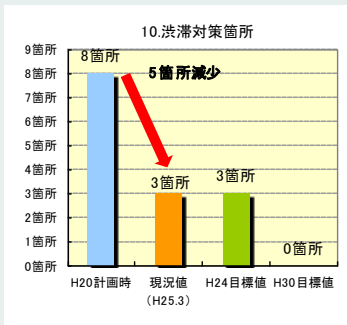
【整備内容】

車道の4車線化、歩道拡幅
無電柱化など
延長L=0.93km、幅員W=30m



■指標

- (10) 渋滞対策箇所
(11) 県民一人あたりの渋滞損失時間



■達成状況と今後の取組み

【平成24年度までの取組み】

- (国) 287号 今泉交差点
- (主) 山形天童線 落合交差点の渋滞対策
- (主) 山形朝日線 桜町交差点の渋滞解消
- (一) 米沢浅川高畠線 中田町交差点の渋滞解消
- (国) 112号 出羽大橋交差点の渋滞解消
- (都) 十日町双葉町線 幸町(村山28)等が完了

【平成25年度における取組み】

- (都) 旅籠町八日町線 七日町(村山29)
- (都) 鞆町成田線 本町(置賜22)
- (都) 羽黒町加茂線 神明町(庄内22)等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成状況】

- 指標10: 達成
指標11: 達成

■「指標（11）県民一人あたりの渋滞損失時間」について

施策5の評価指標として用いる「指標（11）県民一人あたりの渋滞損失時間」は、渋滞にかかる時間と渋滞を受け台数（人数）を考慮した指標であり、渋滞時と平常時の所要時間にどれだけの差が生じるかを算出し、それを県民一人あたりの1年間の数値に換算することで求める。

本指標を用いるメリットは、特定の路線だけでなく地域全域での評価が可能である点、また、所要時間の短縮効果に加えて、交通量等も考慮した評価が可能になる点にある。

■ 渋滞損失時間とは

渋滞にかかる時間と渋滞の影響を受ける台数（人数）を考慮した指標

計算例（aからbまでの区間を通行する場合）

・平常時の所要時間・・・25分



15分余計にかかる
(15分=0.25時間)

・渋滞時の所要時間・・・40分

・利用台数・・・10,000台/日とする

・乗車人員・・・1.5人/台とする



■ ある路線での渋滞損失時間算出方法

余計にかかる時間

× 利用台数

×

乗車人数

渋滞損失時間：0.25(時間) × 10,000(台/日) × 1.5(人/台) = 3,750(時間・人/日)

・県内にA～Zまでの路線がある場合

■ 総渋滞損失時間

路線Aの渋滞損失時間

+

...

路線Zの渋滞損失時間

総渋滞損失時間：A(時間・人/日) + ... + Z(時間・人/日) = (A+...+Z)(時間・人/日)

■ 県民一人あたりの渋滞損失時間（指標として使用する数値）

総渋滞損失時間

× 年間換算

÷ 県民一人あたりに換算

県民一人あたりの渋滞損失時間 = (A+...+Z)(時間・人/日) × 365日 / (山形県の人口)

メリット

- ・特定の路線だけでなく、地域全体としての評価が可能
- ・所要時間の短縮効果に加え、交通量等も考慮した評価が可能

デメリット

- ・一般の方になじみがない
- ・広範囲の効果を算出するためには、多くのデータが必要（区間毎の交通量、速度データ）

選択と集中) 6. 人に優しい道路空間の整備推進

■プロジェクトの方針

通学路への歩道設置を推進するとともに、歩行者にとって、安全で快適な歩行空間の施設整備を図るなど、県民生活に欠かせない人に優しい道路空間の整備を推進する。
特に、今後の高齢者社会を見据え、高齢者等を標準とした歩行空間のバリアフリー化とともに、死傷事故件数の軽減のための施策に取り組んでいく。

■取り組み

歩道・自歩道整備、交差点の改良、歩行空間のバリアフリー化、電線の地中化、歩道の消雪等

(1) 歩道、自転車歩行車道

- ・ 通学路指定路線 一歩道が未整備で危険な箇所への歩道の設置
- ・ 通学路に指定されていない路線 一交通量が多く、歩行者が危険にさらされている箇所への歩道の設置

(2) 交差点の改良

- ・ 渋滞対策のための右左折レーンの設置や、交差角度不良等の交通の障害となる交差点での改良

(3) 歩行空間のバリアフリー化

- ・ バリアフリー化として「セミフラット形式」を基本とした歩道整備
- ・ 既設のマウントアップ形式の切り下げ部における全ての歩行者に配慮した構造を基本とする取組み
- ・ 電線の地中化により電柱を排除し良好な歩行空間を確保するとともに、震災時の電柱の倒壊被害を防止する取組み
- ・ 歩行者の多い箇所における冬期バリアフリーに対応した歩行空間確保のための無散水消雪等の取組み
- ・ 自転車専用レーン等の整備を推進し歩行者・自転車の分離を図り、歩行者等と自転車との事故を防止し安全な歩行空間確保

■実施事業例

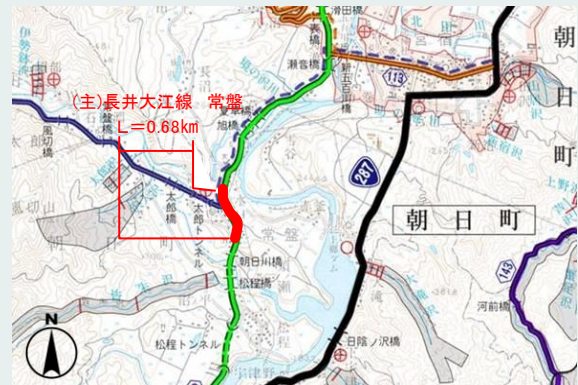
事業名：(主)長井大江線 常盤 (平成24年度供用)

○整備の経緯・目的

【背景】

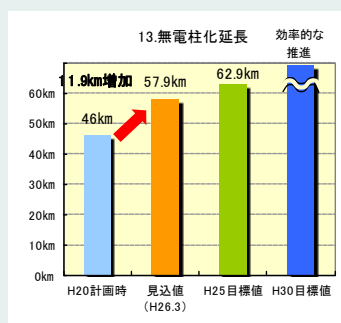
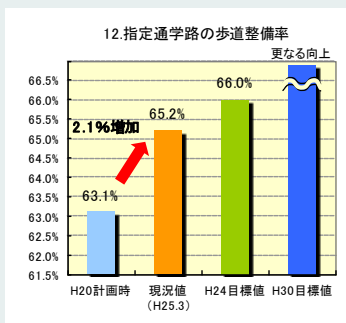
朝日町常盤地区は、歩道が未整備である上に自動車交通量も多く、危険な状態にあるため、歩行者道の整備を行い、児童等通行者の安全を図る。

【整備内容】 歩道設置工事
延長L=0.68km



■指標

- (12) 指定通学路の歩道整備率
(13) 無電柱化延長



■達成状況と今後の取組み

【平成24年度までの取組み】

- (主) 山形停車場線 香澄町 (交差点改良) (村山 33)
(主) 新庄戸沢線 升形 (歩道) (最上 22)
(一) 網木小野川館山線 小野川 (歩道) (置賜 24)
(一) 吹浦酒田線 光ヶ丘 (庄内 26)
(一) 板井川下山添線 上山添 (歩道) (庄内 27)
(主) 余目加茂線 東沼 (歩道) (庄内 28) 等が完了

【平成25年度における取組み】

- (主) 寒河江西川線 洲崎 (歩道) (村山 34)
(一) 五味沢小国線 岡岡 (歩道) (置賜 26) 等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成状況】

指標12: **未達成**
指標13: **未達成**

最優先) 7. 緊急輸送道路の強化の推進

■プロジェクトの方針

山形県が管理する道路のうち、第1次緊急輸送道路88km、第2次緊急輸送道路934kmについて耐震性等の強化を行い、地震時の緊急輸送道路ネットワーク機能強化を推進する。

■取り組み (対象事業)

- ・道路防災総点検により危険箇所とされた箇所の内、緊急輸送道路について、防災対策工事を実施
- ・緊急輸送道路において老朽化や機能不足等が著しい12橋梁については、架替更新を実施

■実施事業例

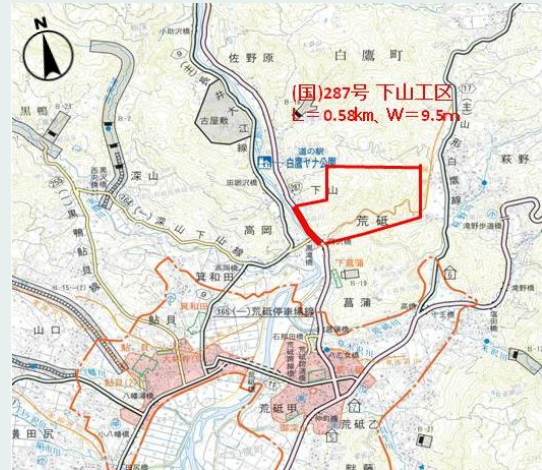
事業名：(国)287号 下山工区 (平成24年度供用)

○整備の経緯・目的

【背景】

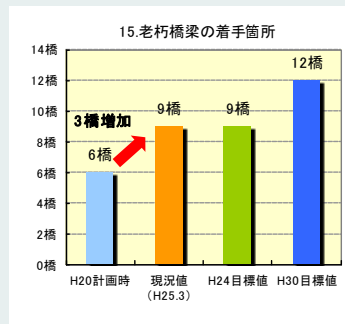
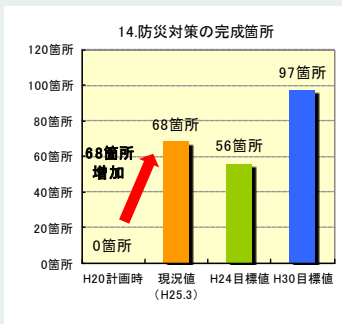
白鷹町下山地内は豪雪地域で、冬期間には幅員確保が難しく危険な箇所であるため、堆雪幅を確保することにより冬期交通障害の解消を図る。

【整備内容】 堆雪幅設置工事
延長 L=0.58km、幅員 W=9.5m



■指標

- (14) 防災対策完成箇所
(15) 老朽橋梁の着手箇所



■達成状況と今後の取り組み

【平成24年度までの取り組み】

- (主) 真室川鮭川線 八敷代橋 (最上 24)
- (主) 真室川鮭川線 鏡沢橋 (最上 26)
- 国道121号 窪田防雪柵 (置賜 27)

【平成25年度における取り組み】

- (主) 大石田畑線 亀井田橋 (村山 37)
- (主) 真室川鮭川線 安久土橋 (最上 25)
- 国道344号 北青沢 (防災) (庄内 30) 等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成状況】

- 指標14: 達成
- 指標15: 達成

選択と集中) 8. 災害と雪に強い道路の対策推進

■プロジェクトの方針

局地的な豪雨など、自然災害の多発化・凶暴化に対応するため、既存道路の斜面对策や冠水対策等を推進するとともに、雪国である山形県にとって必須である冬期の交通空間確保のための堆雪幅の拡幅、流雪溝の整備、及び防雪柵整備による地吹雪対策等を引き続き推進する。
また、身近な道路における交通事故危険箇所の安全対策等の推進を図る。

■取り組み（対象事業）

道路防災総点検により対策が必要とされる箇所（緊急輸送道路以外）

- ・ 落石・雪崩・地吹雪などの対策を行うことによる道路通行の安全性確保
- ・ 冬期交通安全対策としての堆雪幅の確保など、道路の危険性排除のための事業
- ・ 冬期通行の安全性、利便性の向上のための堆雪幅の確保、流雪溝の整備、防雪柵の設置等
- ・ 豪雨による冠水の危険がある箇所に対する危険回避のための予告表示灯の設置等
- ・ 事故多発箇所に対する事故軽減対策等

■実施事業例

事業名：(一) 宮宿浮島線（三中(2)工区）（平成23年度供用）

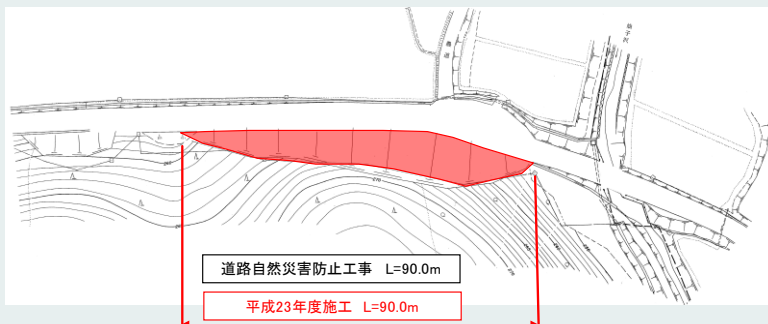
○整備の経緯・目的

【背景】

当該箇所は法面の荒れが著しいため、簡易吹付を施工し法面の安定を図る。

【整備内容】

道路自然災害防止工事
延長 L=0.09km、幅員 W=5.0m



【整備前】

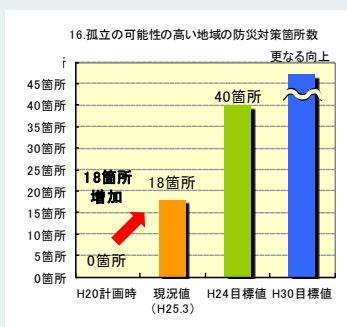


【整備後】



■指標

(16) 孤立の可能性の高い地域の防災対策箇所数



■達成状況と今後の取組み

【平成24年度までの取組み】

- (一) 最上西公園線 大堀流雪溝（最上 29）
- (一) 福寿野熊高線 長者原(防雪柵)（最上 30）
- (一) 赤坂真室川線 昭和(堆雪幅)（最上 31）
- (主) 玉川沼沢線 玉川(雪崩予防策)（置賜 30）
- 国道 345号 出川原(堆雪幅)（庄内 34）
- (一) 菅里直世下野沢線 当山(防雪柵)（庄内 35）
- 国道 345号 宝徳(防雪柵)（庄内 36）等が完了

【平成25年度における取組み】

- (一) 大石田名木沢線 岩ヶ袋流雪溝（村山 41）
- (主) 米沢飯豊線 須郷(落石対策)（置賜 29）等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成状況】

指標16: **未達成**

最優先) 9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化

■プロジェクトの方針

山形県が管理する道路橋等の道路施設について、今後は、長期的な視点に立ち、厳しい財政状況下においても安全性を確実に確保するために、道路管理施設の長寿命化に積極的に取り組み、長期的なコストの縮減、更新を含めた管理費用の平準化を図る。

道路橋については、長寿命化修繕計画を平成23年度までに全橋について策定し、その後、「傷みが小さいうちに計画的に対策することで長寿命化を図る予防保全型の管理」に移行する。

■取り組み(対象事業)

橋梁維持管理のPDCAサイクル化

・県が管理する道路橋約2,300橋について長寿命化修繕計画を策定し、定期点検、計画の策定及び更新、対策、記録をPDCAによる5年サイクルで継続的に実施する。

また、道路パトロール等による日常的な点検と併せ、橋梁の状態を常に把握することで、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。

計画的な対策の実施

・初回点検に基づき、損傷の度合いに応じた補修を実施し、以後は新たな損傷の発生や進行を把握しつつ、早期の予防的な補修による長寿命化または計画的な架け替えにより、橋梁全体の維持管理費用の最適化を図る予防保全型の管理を行なう。

■実施事業例

事業名：(一) 岳谷上屋地線 置賜白川 岳谷橋
(平成24年度完了 L=16.5m 昭和42年架設)

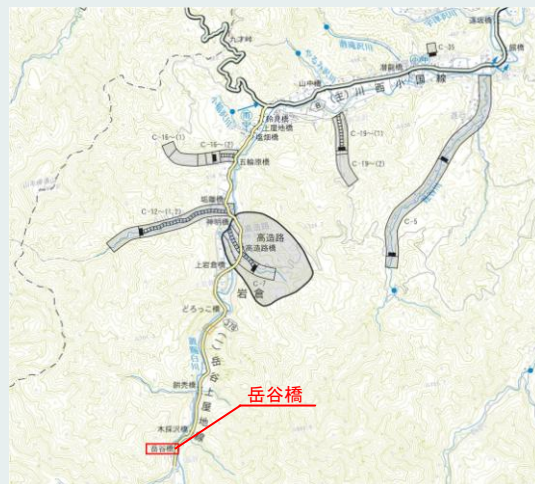
○整備の経緯・目的

【背景】

置賜白川に架かる本橋は、架設後40年が経過し、桁の腐食などの経年的な劣化が進行しつつあった。

【整備内容】

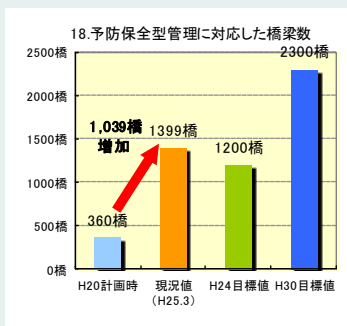
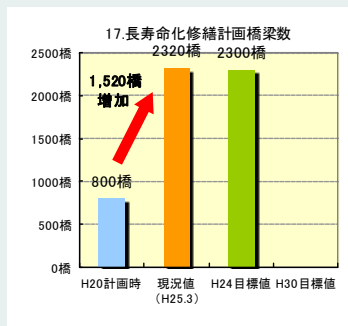
- ・桁の再塗装による防錆化
- ・老朽化した防護柵の取換え



■指標

(17) 長寿命化修繕計画橋梁数

(18) 予防保全型管理に対応した橋梁数



■達成状況と今後の取組み

【平成24年度までの取組み】

- (主) 天童大江線 老野森跨線橋(長寿命化対策)(村山46)
- (主) 上山七ヶ宿線 長清水跨線橋(長寿命化対策)(村山47)
- (主) 戸沢大蔵線 稲村橋(長寿命化対策)(最上32)
- (主) 川西小国線 這坂橋(長寿命化対策)(置賜31)
- (一) 板谷米沢停車場線 万里橋(置賜32)
- (主) 川西小国線 十四郷橋(長寿命化対策)(置賜33)等が完了

【平成25年度における取組み】

- (一) 砂越余目線 庄内大橋(長寿命化対策)(庄内38)等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成状況】

指標17: 達成

指標18: 達成

最優先) 10. 県民協働と効率的な道路維持管理の推進

■プロジェクトの方針

県民生活や経済活動等に欠くことのできない道路ネットワークを、今後も使い続けていくために、道路の維持管理費の優先的な確保を行うものとするが、厳しい財政制約の中にあっては、地域の実情やニーズを踏まえて、よりいっそうの工夫を行い、効率的な維持管理を推進していく。

特に、道路本体、道路構造物、道路付属施設などについては、既存施設の有効活用や長寿命化を図り、長期的なコスト削減の視点に立った効率的な維持管理を推進する。また、マイロードサポーターによる道路の清掃・除草などの環境美化の取組みや、冬期間の歩道除雪など、県民との協働による取組みの支援を通して、住民ニーズに応じたきめ細やかな維持管理の実現と地域コミュニティづくりを支援する。

■取り組み（対象事業）

- ・道路管理の事業（道路パトロール、除草、除雪等）
- ・道路維持補修等の事業（舗装の修繕や更新、道路側溝の修繕や整備）
- ・県民協働の取組み（協働除雪、マイロードサポート、ボランティア除雪等）
- ・効率的な除雪作業（交換路線除雪、協働除排雪）

■実施事業例

路線名：(国) 458号
団体名：八幡丁R458を美しくする会

○整備の経緯・目的

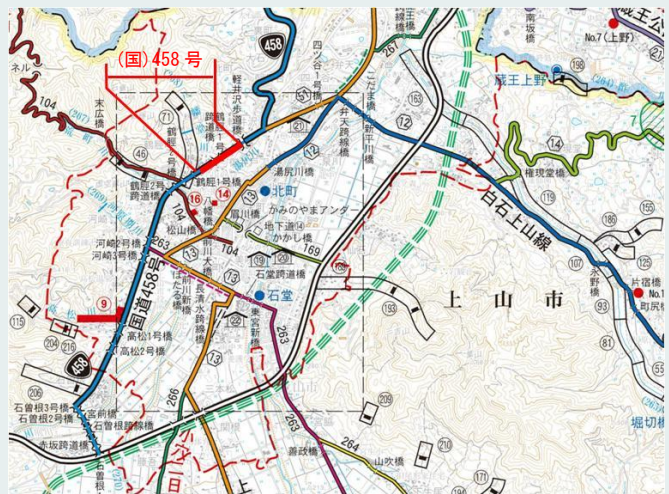
【背景】

清掃や除草、植栽などを通じて、道路の維持・沿道環境の向上に努めている。

【活動内容】

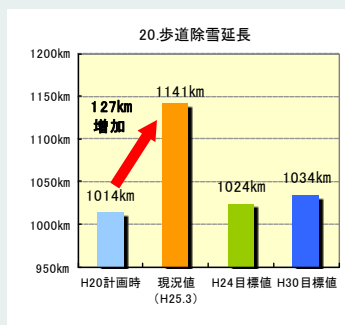
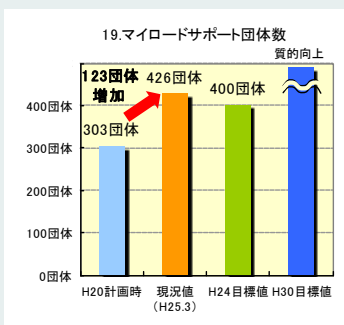
- ・清掃（落葉、空き缶等の清掃）
- ・除草（機械や鎌による草刈）
- ・植栽（花壇等の植栽）
- ・情報提供（道路の破損状況） など

(平成 25 年度国土交通大臣感謝状授与)



■指標

- (19) マイロードサポート団体数
(20) 歩道除雪延長



■達成状況と今後の取組み

【平成 24 年度までの取組み】

歩道除雪延長は、既に H24 目標である 1,024km を達成している。また、マイロード団体数は 426 団体となっている。

【平成 25 年度における取組み】

マイロードサポート団体の新たな登録および歩道除雪延長の更なる拡大に向けて取り組む

【平成 24 年度目標値に対する達成状況】

指標 19: 達成

指標 20: 達成

3 総括

■平成24年度の達成度

- ・最優先の5施策については、すべての指標で目標が達成された。
- ・選択と集中の5施策のうち、施策6の「指標(12)通学路の歩道整備事業」と「指標(13)無電柱化事業」、施策8の「指標(16)孤立の可能性の高い防災対策事業」で目標が未達成となった。
- ・施策6の「指標(12)通学路の歩道整備事業」については、事業は順調に進んでいたものの、予算の都合上、目標未達成となった。近年通学路における重大事故が多発しているため、通学路の安全性確保に向けて優先度を高めて取り組む必要がある。
- ・「指標(13)無電柱化事業」は、用地買収の難航による工事の遅れのため、目標が未達成となっている。用地買収が進むよう住民の理解を得ることが必要である。
- ・施策8の「指標(16)孤立の可能性の高い地域の防災対策箇所数」でも、平成24年度の目標を大きく下回っているが、東日本大震災後、積極的に事業を進めており、平成25年度以降完了箇所が伸びていく予定となっている。

H25.3時点

10のみちづくり 施策	指標名	H20 計画時	H24 現況値	H24 目標値	H24 目標値 達成状況 ※1	H30 目標値
1 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の全線着手	(1)高速道路の供用延長	171km	201 km	202km	○ ※2	273km
	(2)地域高規格道路の供用延長	11km	11 km	-	-	45km
2 高速交通ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	(3)IC30分圏域県内人口率	70.2%	70.8%	70.8%	○	95.4%
	(4)IC10分圏工業団地数	36箇所	36箇所	36箇所	○	54箇所
	(5)IC30分圏主要な観光地数	59箇所	61箇所	61箇所	○	86箇所
3 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備促進	(6)2次医療施設10分圏域人口率	74.4%	74.6%	74.6%	○	75.7%
	(7)県内主要都市から県庁所在地への所要時間	67.6分	64.9分	-	-	62.9分
4.生活幹線道路ネットワークの整備促進	(8)冬みち安全道路整備	14.8%	16.8%	16.3%	○	更なる改善
	(9)バス路線での大型車すれ違い不可能箇所数	50箇所	43箇所	-	-	42箇所
5 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	(10)渋滞対策箇所	8箇所	3箇所	3箇所	○	0箇所
	(11)県民一人あたりの渋滞損失時間	30.9時間	30.0時間	30.2時間	○	28.4時間
6 人に優しい道路空間の整備推進	(12)指定通学路の歩道整備率	63.1%	65.2%	66.0%	×	更なる向上
	(13)無電柱化延長	46,026m	57,890m (H26.3見込値)	62,911m (H25目標)	×	効率的な推進
7.緊急輸送道路の強化の推進緊急輸送道路の防災危険箇所の概成、老朽橋梁等の更新	(14)防災対策完成箇所	-	68箇所	56箇所	○	97箇所
	(15)老朽橋梁の着手箇所	6橋	9橋	9橋	○	12橋
8.災害と雪に強い道路の対策推進	(16)孤立の可能性の高い地域の防災対策箇所数	-	18箇所	40箇所	×	更なる対策
9.予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化(山形県橋梁長寿命化計画による修繕等の推進)	(17)長寿命化修繕計画橋梁数	800橋	2,320橋	2,300橋	○	-
	(18)予防保全型管理に対応した橋梁数	360橋	1,399橋	1,200橋	○	2,300橋
10 圏民協道と、効率的な道路維持管理の推進	(19)マイロードサポート団体数	303団体	426団体	400団体	○	質的向上
	(20)歩道除雪延長	1,014km	1,141km	1,024km	○	1,034km

 最優先の施策

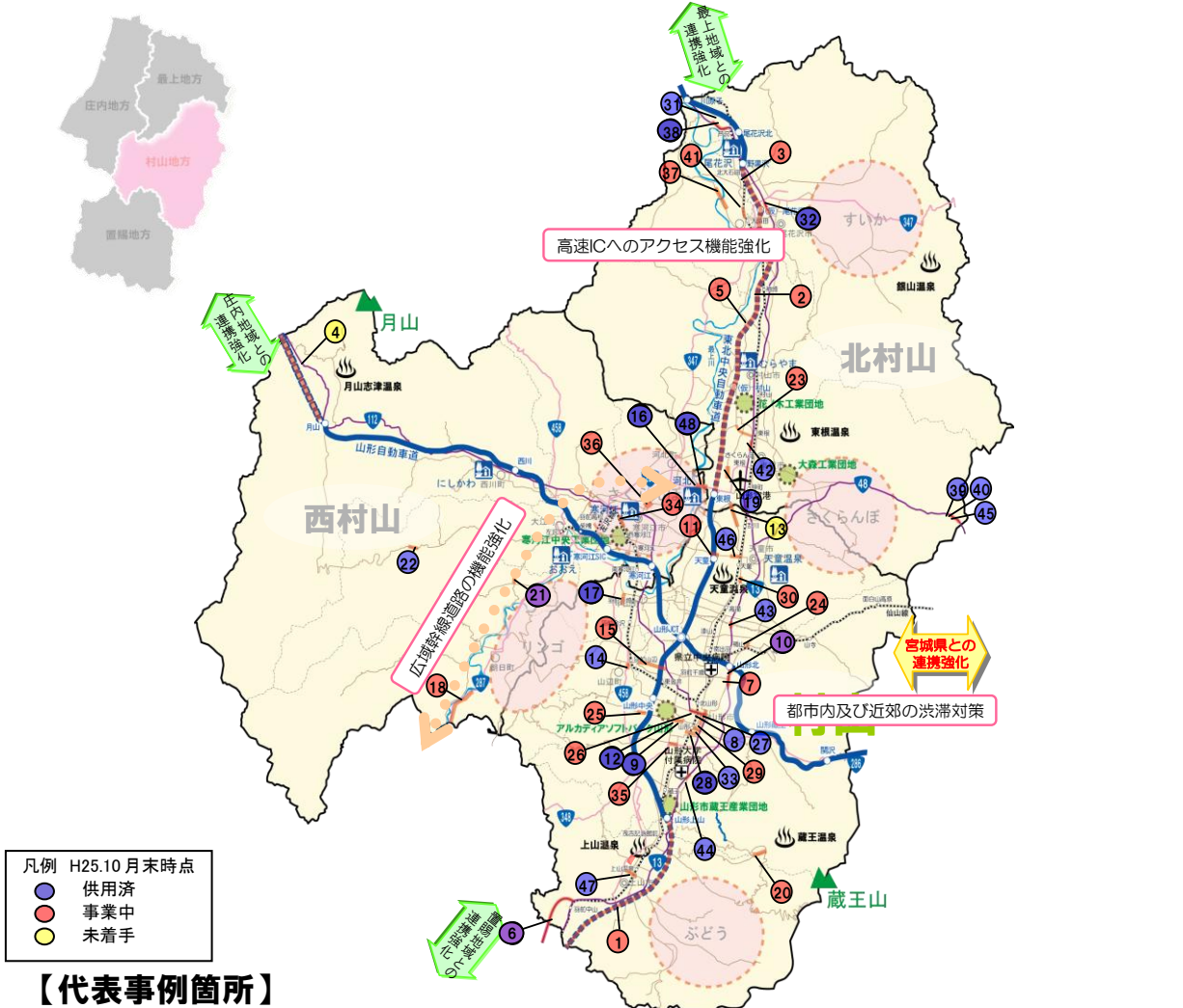
※1：H24目標値達成状況…○：達成、×：未達成

※2：計画策定時よりも供用延長が短縮されたためH24目標値を下回っているが、当初掲げた事業は全て供用済みであるため。

参考

村山地域

【都市と農村が共鳴しあい、様々な県民活動が展開される田園都市圏「村山」の創造】



- 凡例 H25.10月末時点
- 供用済
 - 事業中
 - 未着手

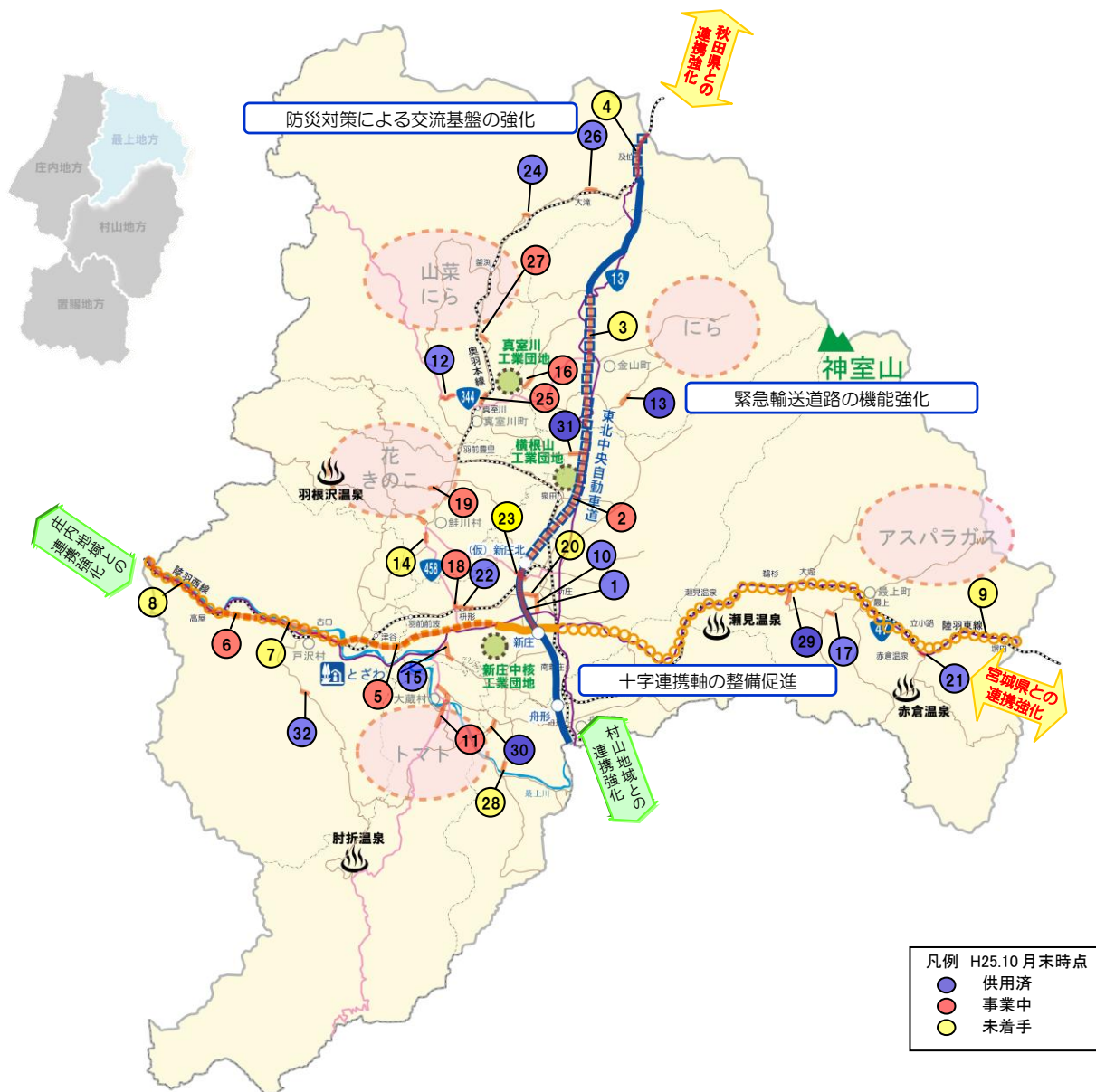
【代表事例箇所】

施策	事業名	No.
1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手	東北中央自動車道	1
	南陽高畠IC～山形上山IC	2
	東根IC～(仮)～尾花沢IC	3
	尾花沢新庄道路	4
	山形自動車道	5
2. 高速交通ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	追加IC	6
	国道13号 上山バイパス	7
	国道13号 大野目交差点改良	8
	(都) 山形停車場松波線 諏訪町	9
	(都) 東原村木沢線 春日町	10
	(主) 山形山寺線 穂積	11
	(主) 天童大江線 蔵増	12
	(一) 下原山形停車場線 清住町	13
3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進	国道458号 山辺バイパス	14
	(主) 山形山辺線 吉野宿	15
	(主) 天童大江線 蔵増	16
	国道287号 谷地・東根	17
	(主) 天童寒河江線 岡〔村山-2〕	18
4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進	国道287号 杉山〔西村山-1〕	19
	(一) 長瀬野田線 野田	20
	(一) 上山蔵王公園線 蔵王温泉	21
	(主) 長井大江線 大谷	22
	(主) 大江西川線 貴見	23
	(一) 東根長島線 長瀬〔北村山-1〕	24
	(主) 山形山寺線 高瀬川橋	25

施策	事業名	No.
5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	国道112号 震城改良	26
	国道13号 大野目交差点改良	〔再掲〕
	(一) 下原山形停車場 清住町	27
	(都) 旅籠町千歳橋線 相生町	28
	(都) 十日町双葉町線 幸町	29
	(都) 旅籠町八日町線 七日町	30
	(都) 山形老野森線 一日町	31
	国道13号 名木沢歩道	32
	国道13号 尾花沢歩道	33
	(都) 山形停車場線 香澄町(交差点改良)	34
6. 人にやさしい道路空間の整備推進	(主) 寒河江西川線 州崎(歩道)	35
	国道348号 南館(交差点改良)〔村山-1〕	36
	(主) 寒河江西川線 三泉(歩道)	37
	(主) 大石畑線 亀井田橋	38
	国道13号 名木沢地区流雪溝	39
	国道48号 柳沢地区防災対策	40
	国道48号 萱倉山地区防災対策	41
	(一) 大石田名木沢線 岩ヶ袋流雪溝	42
7. 緊急輸送道路の強化の推進	(主) 長井大江線 大谷	43
	国道13号 新白水川橋	44
	国道13号 天童大橋	45
	国道13号 飯田高架橋	46
	国道48号 第1・2赤滝橋	47
	(主) 天童大江線 老野森跨線橋	48
	(主) 上山七ヶ宿線 長清水跨線橋	49
	国道287号 谷地橋(長寿命化対策)	50
8. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化(山形県橋梁長寿命化計画)による修繕等の推進	マイロードサポート事業	—
	協働除雪作業	—

最上地域

【森と里山の文化が息づく暮らしの豊かさと厚みのある産業が織り成すエコポリス「最上」の創造】



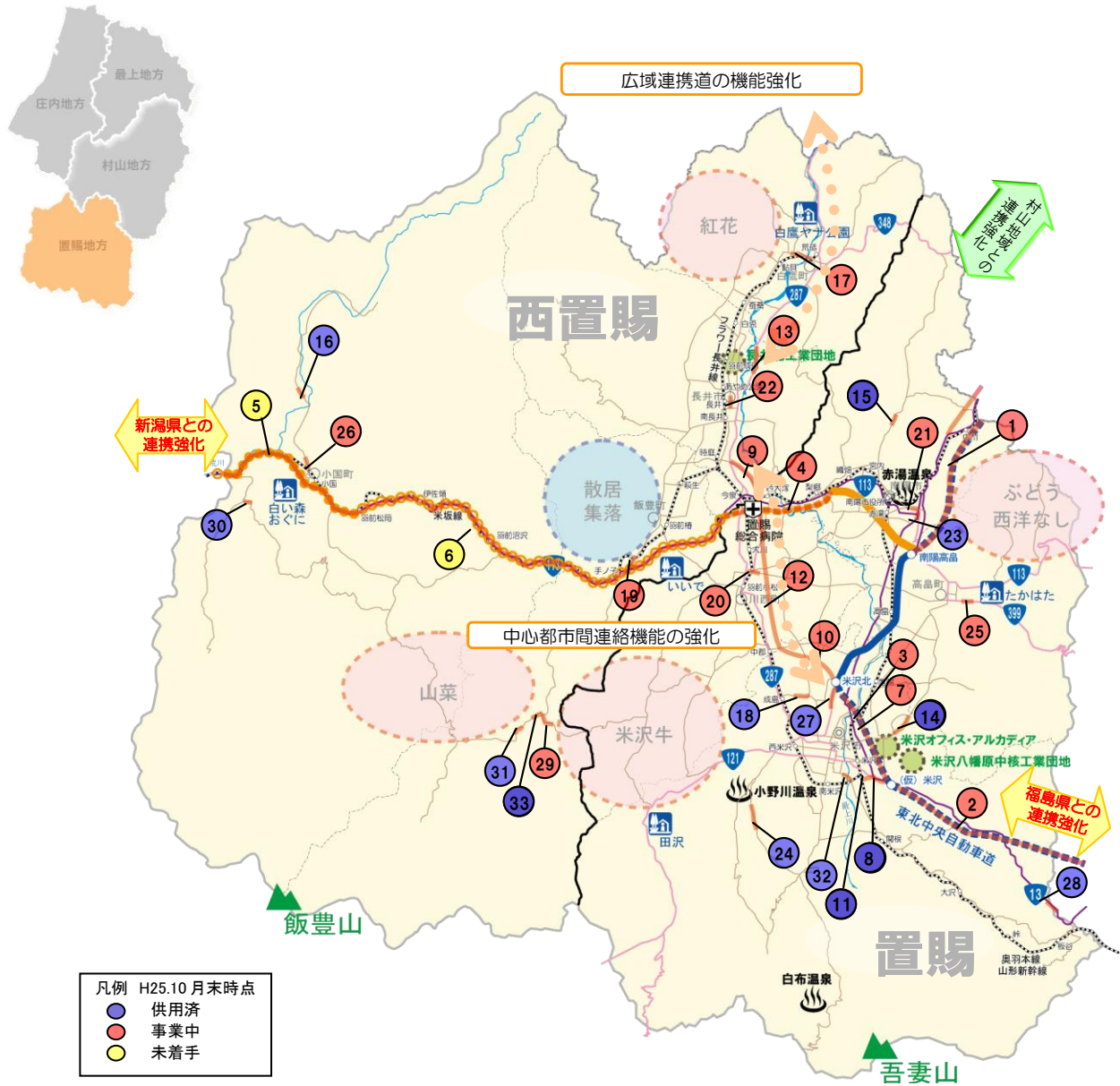
【代表事例箇所】

施策	事業名	No.
1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手	新庄北道路	1
	泉田道路	2
	泉田道路～主寝坂道路【計画段階評価着手】	3
	主寝坂道路～秋田県雄勝【計画段階評価着手】	4
	新庄古口道路	5
	高屋道路	6
	古口～草薙【新規着手】	7
	戸沢～立川【計画段階評価着手】	8
	石巻新庄道路	9
2. 高速交通ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	(主) 新庄戸沢線 松本	10
	国道458号 本合海バイパス	11
	国道344号 秋山バイパス	12
	国道458号 本合海バイパス	[再掲]
3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進	(一) 稲沢下野明線 下野明・安沢	13
	国道458号 日下【最上-2】	14
	(主) 新庄舟形線 本合海	15
	(一) 平岡日当線 板橋	16
4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進	(一) 向町最上西公園線 月福【最上-1】	17
	国道458号 升形	18
	(一) 曲川新庄線 居口橋	19

施策	事業名	No.
5. 中心市街地や都市の拠点機能高める都市蓋盤の推進	(主) 新庄戸沢線 宮内	20
6. 人にやさしい道路空間の整備推進	国道47号 富沢歩道	21
	(主) 新庄戸沢線 升形(歩道)	22
	国道458号 升形	[再掲]
7. 緊急輸送道路の強化の推進	国道458号 下西山踏切	23
	(主) 真室川鮭川線 八敷代橋	24
	(主) 真室川鮭川線 安久土橋	25
	(主) 真室川鮭川線 鏡沢橋	26
	(主) 真室川鮭川線 栗谷沢橋	27
8. 災害に強い道路の対策推進	(主) 新庄次子村山線 堀内橋	28
	(一) 最上西公園線 大堀流雪溝	29
	(一) 福寿野熊高線 長者原(防雪溝)	30
	(一) 赤坂真室川線 昭和(堆雪幅)	31
9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化	(主) 戸沢大蔵線 福村橋(長寿命化対策)	32
10. 県民協働と、効率的な道路維持管理の推進	マイロードサポート事業	-
	除雪交換路線	-

置賜地域

【伝統・文化が実を結び、人々が支え合い輝く、力強い産業が根を張る魅力ある「置賜」の創造】



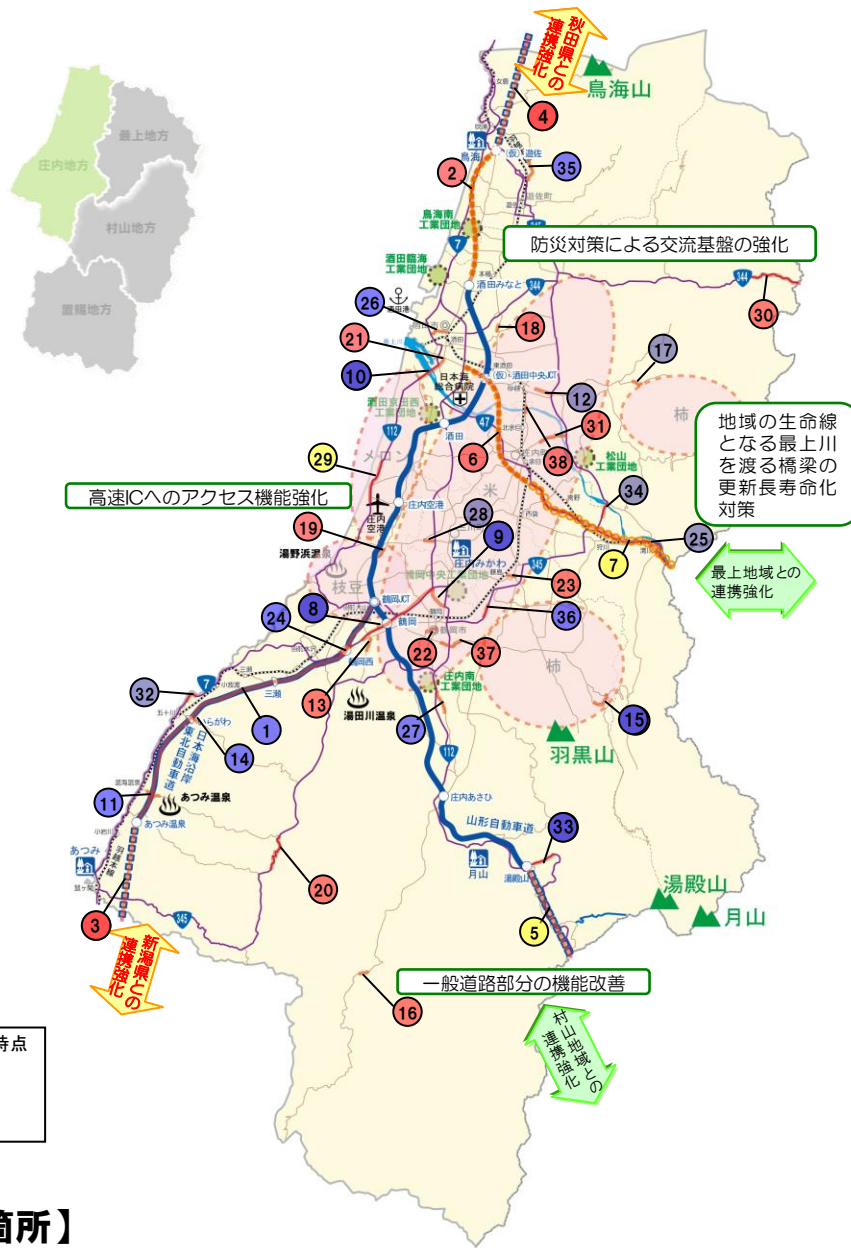
【代表事例箇所】

施策	事業名	No.	
1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手	東北中央自動車道	南陽高畠IC～山形上山IC	1
		福島JCT～(仮)米沢IC	2
		(仮)米沢IC～米沢北IC	3
	新潟山形南部連絡道路	梨郷道路	4
		小国道路【計画段階評価着手】	5
		小国～長井【調査区間昇格】	6
		追加IC	追加ICの整備
2. 高速交通ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	国道13号 米沢拡幅	8	
	国道287号 長井南BP	9	
	国道287号 米沢北BP	10	
	(一) 米沢環状線 万世	11	
	国道287号 川西バイパス【置賜-2】	12	
	国道287号 森バイパス	13	
	(主) 米沢高畠線 長手	14	
	(主) 山形南陽線 中里	15	
(一) 五味沢小国線 舟渡	16		
3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進	(主) 長井白鷹線 荒砥橋【西置賜-2】	17	
	(一) 広幅窪田線 六郷	18	
	(主) 長井飯豊線 手ノ子	19	
	(主) 高畠川西線 中小松	20	

施策	事業名	No.
5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	国道13号 米沢拡幅	〔再掲〕
	(一) 米沢環状線 万世	〔再掲〕
	(都) 赤湯停車場線 赤湯	21
	(都) 稻町成田線 本町【西置賜-1】	22
6. 人によさしい道路空間の整備推進	国道13号 長岡交差点改良	23
	(一) 網木小野川館山線 小野川(歩道)	24
	国道399号 小郡山(歩道)【置賜-1】	25
(一) 五味沢小国線 増岡(歩道)	26	
7. 緊急輸送道路の強化の推進	国道121号 窪田防雪柵	27
8. 災害に強い道路の対策推進	国道13号 米沢板谷地区防災対策	28
	(主) 米沢飯豊線 須郷(落石対策)	29
	(主) 玉川沼沢線 玉川(雪崩予防策)	30
9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化	(主) 川西小国線 這坂橋(長寿命化対策)	31
	(一) 板谷米沢停車場線 万里橋(長寿命化対策)	32
	(主) 川西小国線 十四郷橋(長寿命化対策)	33
10. 県民協働と、効率的な道路維持管理の推進	マイロードサポート事業	—
	置賜道路ボランティア事業	—

庄内地域

【海・山・平野と歴史が育んだ文化・産業と新たな胎動が融合した新しい地域モデル「庄内」の創造】



凡例 H25.10月末時点
 ● 供用済
 ● 事業中
 ● 未着手

【代表事例箇所】

施策	事業名	No.	施策	事業名	No.	
1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手	あつみ温泉IC～鶴岡JCT	1	5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	(都) 豊里十里塚線 山居町	21	
	日本海沿岸東北自動車道	2		(都) 羽黒橋加茂線 神明町	22	
	酒田みなとIC～(仮)遊佐鳥海IC	3		(都) 藤島駅笹花線 新町	23	
	2. 高速交通ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	朝日まほろばIC～あつみ温泉IC【新規着手】	4	6. 人にやさしい道路空間の整備推進	国道7号 中清水歩道	24
		(仮)遊佐IC～象潟IC	5		国道47号 清川駅口交差点改良	25
		月山IC～湯殿山IC【機能強化・部分改良】	6		(一) 吹浦酒田線 光ヶ丘	26
		余目酒田道路	7		(一) 坂井川下山添線 上山添(歩道)	27
立川～余目【調査区間昇格】	8	(主) 余目加茂線 東沼(歩道)	28			
3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進	国道7号 鶴岡バイパス	9	国道112号 浜中(歩道)	29		
	国道112号 鶴岡バイパス	10	7. 緊急輸送道路の強化の推進	国道112号 出羽大橋	[再掲]	
	国道112号 酒田南拡幅	11		(都) 豊里十里塚線 新内橋	[再掲]	
	(主) 余目温海線 温海	12	国道344号 北青沢(防災)	30		
(主) 酒田松山線 飛鳥	13	(一) 余目松山線 庄内橋【庄内-2】	31			
(主) 酒田川大山線 白山	14	8. 災害に強い道路の対策推進	国道7号 堅苔沢地区防災対策	32		
(主) 菅野代堅苔沢線 五十川【庄内-1】	15		国道112号 田妻俣地区防雪対策	33		
4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進	鶴岡村上線 荒沢		16	国道345号 出川原(堆雪幅)	34	
	(一) 円能寺砂越停車場線 中野俣		17	(一) 菅里直世下野沢線 当山(堆雪幅)	35	
	(一) 安田砂越停車場線 上野曾根	18	国道345号 宝徳(防雪柵)	36		
	(主) 余目加茂線 下川	19	9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化	(主) 鶴岡羽黒線 羽黒橋(長寿命化対策)	37	
国道345号 一本木	20	(一) 砂越余目線 庄内大橋(長寿命化対策)		38		
			10. 県民協働と、効率的な道路維持管理の推進	マイロードサポート事業	—	
				除雪交換路線	—	